Information Management software

IBM Optim Database Administrator for DB2® for Linux®, UNIX®, and Windows® バージョン 2.2.3

バージョン 2.2.3

クイック・スタート・ガイド

本書は、IBM Optim Database Administrator for DB2 for Linux, UNIX, and Windows バージョン 2.2.3 の標準的なインストールを開始するためのものです。

製品の概要

Optim™ Database Administrator は強力なデータベース管理ツールで、オブジェクトの検出と変更、ユーティリティーとコマンドの実行や編集、構成の変更、セキュリティー特権の付与や取り消しといった、日々のタスクの実行を容易に使用できるようにするインターフェースを提供します。(バージョン 2.2 より前およびバージョン 2.2 のアップデートまでは、Optim Database Administrator は Data Studio Administrator と呼ばれていました。)

Optim Database Administrator は一般的に、データベース管理者が使用することで、データベース管理スクリプトの構築を自動化します。 これらのスクリプトは、ユーザー・インターフェースを介して変更のセットを定義すると自動的にビルドされます。

1 ステップ 1: ソフトウェアへのアクセス

パスポート・アドバンテージから製品をダウンロードする場合は、次の場所にある説明に従ってください。

http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=4016&uid=swg24027641

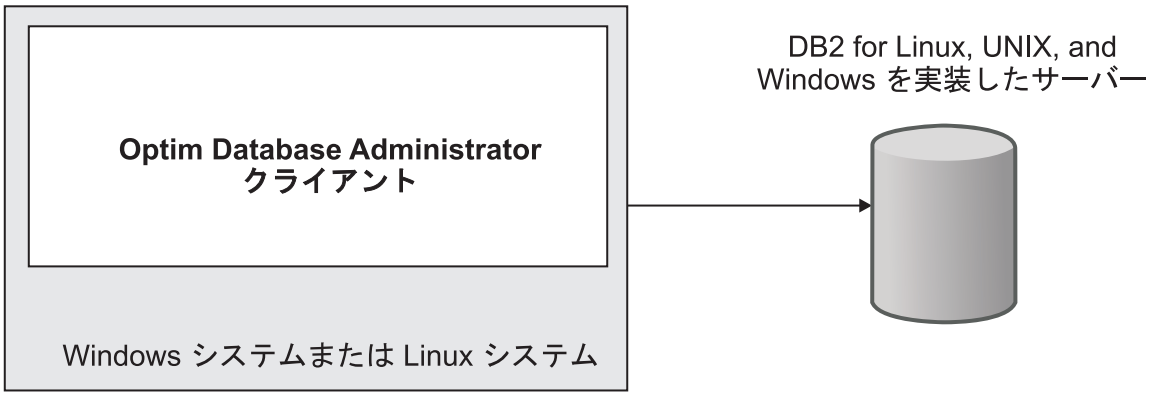
CD から製品をインストールする場合は、次の場所にある説明に従ってください。

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idm/docv3/topic/com.ibm.dstudio.nav.doc/topics/install_eclipseprods.html

2 ステップ 2: 基本アーキテクチャーの確認

Optim Database Administrator 製品を Windows または Linux システムにインストールしたり更新するには、 IBM® Installation Manager を使用します。その後、ご使用の DB2 for Linux, UNIX, and Windows データベースに接続します。 Installation Manager がコンピューターにまだインストールされていない場合は、ランチパッドを利用することで Installation Manager と Optim Database Administrator の両方をインストールできます。

Optim Database Administrator 環境の概要を、以下の図に示します。



3 ステップ 3: ハードウェアおよびシステム構成を評価する

Optim Database Administrator のシステム要件の詳細については、以下を参照してください。

http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=3504&uid=swg27014456

4 ステップ 4: IBM Installation Manager を使用して Optim Database Administrator をインストールする

Optim Database Administrator をインストールするには、ランチパッドから **「製品のインストール」**をクリックします。

ステップバイステップのインストール手順については、ランチパッドから利用可能なインストール・ガイドを参照してください。これらの手順は、インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idm/docv3/topic/com.ibm.dstudio.nav.doc/topics/install_eclipseprods.html) から参照することもできます。

5 ステップ 5: アクティベーション・キットをインポートしてライセンスを構成する

Installation Manager の「ライセンスの管理」ウィザードを使用して、ライセンス・アクティベーション・キットを License Activation Kit CD からインポートするか、またはその他のライセンス・オプションを構成します。

ライセンス・アクティベーション・キットをインポートする手順や、ライセンスのその他のオプションを構成する手順については、ランチパッドから利用可能なインストール・ガイドを参照してください。これらの手順は、インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idm/docv3/topic/com.ibm.dstudio.nav.doc/topics/install_eclipseprods.html) から参照することもできます。

6 ステップ 6: リモート・オペレーションのための構成

リモート・サーバーにある SQL ステートメント、ユーティリティー、およびコマンドを実行したり、リモート・サーバーにあるファイルにアクセスしたり参照する予定の場合は、それに応じてご使用の環境を適切に構成する必要があります。

リモート・オペレーションのための構成手順については、ランチパッドから利用可能なインストール・ガイドを参照してください。これらの手順は、インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idm/docv3/topics/com.ibm.datatools.oda.install.doc/topics/c_dsa_remote.html) から参照することもできます。

詳細情報

詳しくは、以下のリソースを参照してください。

Integrated Data Management インフォメーション・センター

`http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/idm/docv3/index.jsp`

Integrated Data Management Support Web サイト

`http://www.ibm.com/software/data/optim/support`

IBM Optim Database Administrator バージョン 2.2.3 for DB2 for Linux, UNIX, and Windows Licensed Materials - Property of IBM © Copyright IBM Corp. 2005, 2010. IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。 Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

部品番号: CZPF2ML

Printed in Ireland